



教育学部の現況

埼玉大学教育学部副学部長 有川秀之

はじめに

令和六年四月より副学部長を拝命し、二年目を迎えております。日々頃より教友会の皆様には多くのご支援を賜りまして、心より感謝申し上げます。私は一九九一年に埼玉大学教養部に赴任いたしました。その後、大学設置基準の大綱化により、一九九五年教育学部へ配位置換えとなり、保健体育・スポーツ（特に陸上競技・運動学）を専門として、将来教員となる学生に対して、豊かな心と健やかな身体を育むことができるよう、尽力してまいりました。

教育学部の現状と取り組み

教育学部は、令和八年度に新しい教育学部をスタートする準備が整いました。具体的には、学校教育教員養成課程（学校教育コース・教科教育コース）と養護教諭養成課程に組織再編し、「学校教育コース」では小学校免許状取得を必須とし、「教科教育コース」では小学校と中学校の両教員免許状の取得を必須としております。また、教科・専門分野を強化するととも

に、教員に求められる人間性と社会性を総合的に育てるカリキュラムとして、学部共通科目である「教職キャリア科目」などを中心に充実させます。さらに、講座横断的な教育体制として「現代的教育課題部門」、「講座横断教員」の新設により、新たな時代の教育課題・教員養成に対応するようにいたします。

学生の受け入れについて、小学校コース前期日程の募集を「大きく入り」をテーマに先導的な教育モデルの開発を進め、毎年行う教育実践フォーラムで報告し、今年度は教員養成の中間まとめを行つております。

また、教員研修環境の充実に向けた研究成果の発信として、令和五年度から「埼玉大学教育学部が提供可能な教員研修一覧」を毎年集約し、県や市の教育委員会を通じて各学校が活用する形をとつており、令和七年度では百九十一タイトルに及びます。さらに教育部ホームページに十五タイトルの教員研修動画を公開し、全国の教員研修に活用されております。

さらに、令和七年度入試から学校推薦型選抜に「地域枠」を導入しております（募集人員十六名に対し六十二名が応募）。埼玉県内の高等学校から、県内の小学校や特別支援学校への教職を強く希望する高校生を選抜して、大学四年間を通して地域の特色を踏まえた教育を進め、力量ある教員の輩出を図るものとして期待されており

ます。

教職大学院の現状と取り組み

本学の教職大学院は、「総合教育高度化プログラム」と「教科教育高度化プログラム」の二つを開設しています。幼児教育、特別支援教育を含めた学校教育を全面的

むすびに

埼玉大学は師範学校を基盤として受け継がれ、県内唯一の国立大学法人として、力量ある教員を養成することが期待されております。教育学部は、その使命を果たすよう取り組んでいく所存ですので、引き続きご協力・ご支援のほどよろしくお願ひいたします。

に支え牽引する高度な専門性を備えた人材を育成するために、豊かな教職経験を有する実務家教員を含む教育学部を担当するほぼすべての教員が教職大学院の指導を担当しております。入学者は、令和六年度五十一名、令和七年度五十一名となつており、概ね定員を充足しております。